


大項目	書くこと
小項目	文字の形
タイトル (教材名)	でこぼこを感じて字を書こう
目的 身につけてほしい力	鉛筆の先・ペン先から手に伝わる感覚から、「今」書いているという感覚を得る。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙の下に紙やすりを敷いて、文字を書いたり、絵を描いたりする。 ・紙やすりの抵抗が、鉛筆の先・ペン先から手に伝わり、その感覚から手元を意識しやすくなり、またその抵抗から書くスピードがゆっくりとなり丁寧な書くことにもつながる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・普通紙や一般的なノート用紙の厚みでは、240番前後の粗めの紙やすりを用いると程よく抵抗感があり、鉛筆の先やペン先を進めやすい。 ・書いたり、描いたりしているものに注目できているかを確認し、常に意識が向くように支援者は声をかける。